

# 区立施設再編整備計画の検証に関する意見交換会 ～未来へつなぐ公共施設のかたち～

## 説明資料

### ■ 検証状況等から見えてきた様々な課題

この間、施設再編整備計画の検証に当たっては、施設利用者へのアンケートや意見交換などを実施し、様々なご意見をいただきました。

この中で、**情報提供や区民意見の反映**についてのご意見も多くあり、取組の進め方に、課題があったと認識しています。

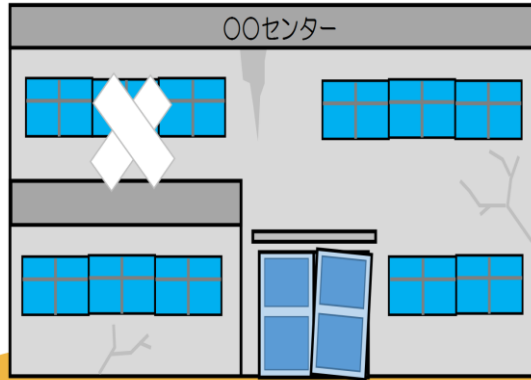
### ■ 課題の解決に必要と考えていること

今後は、区民との情報共有や区民参画による計画づくりを推進する観点から、**計画決定プロセスの見直し**を検討する必要があると考えています。

### ■ 見直すにあたりご参加の皆様から頂きたいご意見

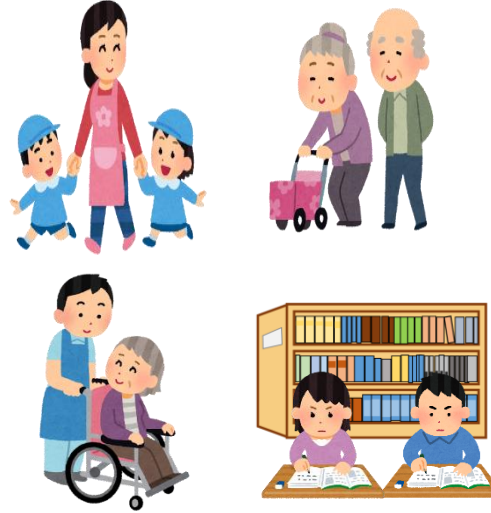
限りある財源の中で工夫しながら、区立施設の老朽化と区民ニーズに対応していく必要があります。**地域の実情を踏まえながら、区民の皆さんとともに、どのように老朽化した施設の更新や施設整備を進めていくべきか、あなたの考える「未来へつなぐ公共施設のカタチ」**についてご意見をお聞かせください。

## ①施設の老朽化



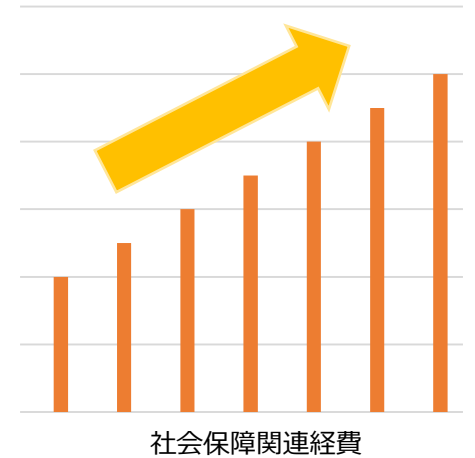
老朽化した建物が数多くあり、次々と更新時期を迎えます。

## ②区民ニーズの変化への対応



時代の変化に合わせてライフスタイルが変わり、施設に対するニーズも変わっています。

## ③限られた財源の中での施設整備

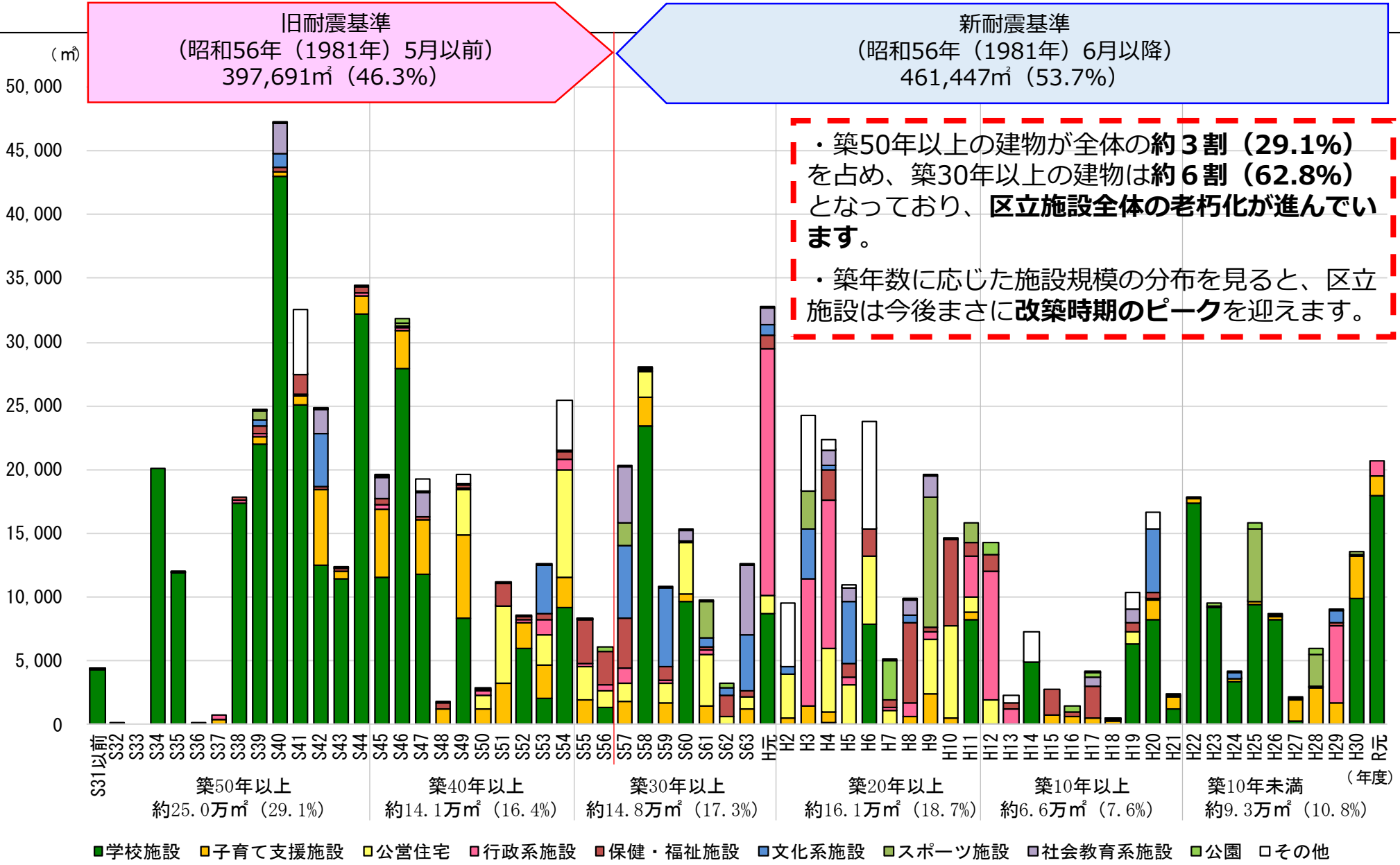


将来的な人口減少による税収減、社会保障関連経費の増加などが見込まれ、施設に使える予算を現在と同様の水準で確保することが難しくなります。

上記した主な3つの課題を念頭に置きながら今後の区立施設のあり方を考えていく必要があります。

# 区立施設の老朽化

【築年別延床面積の積算】

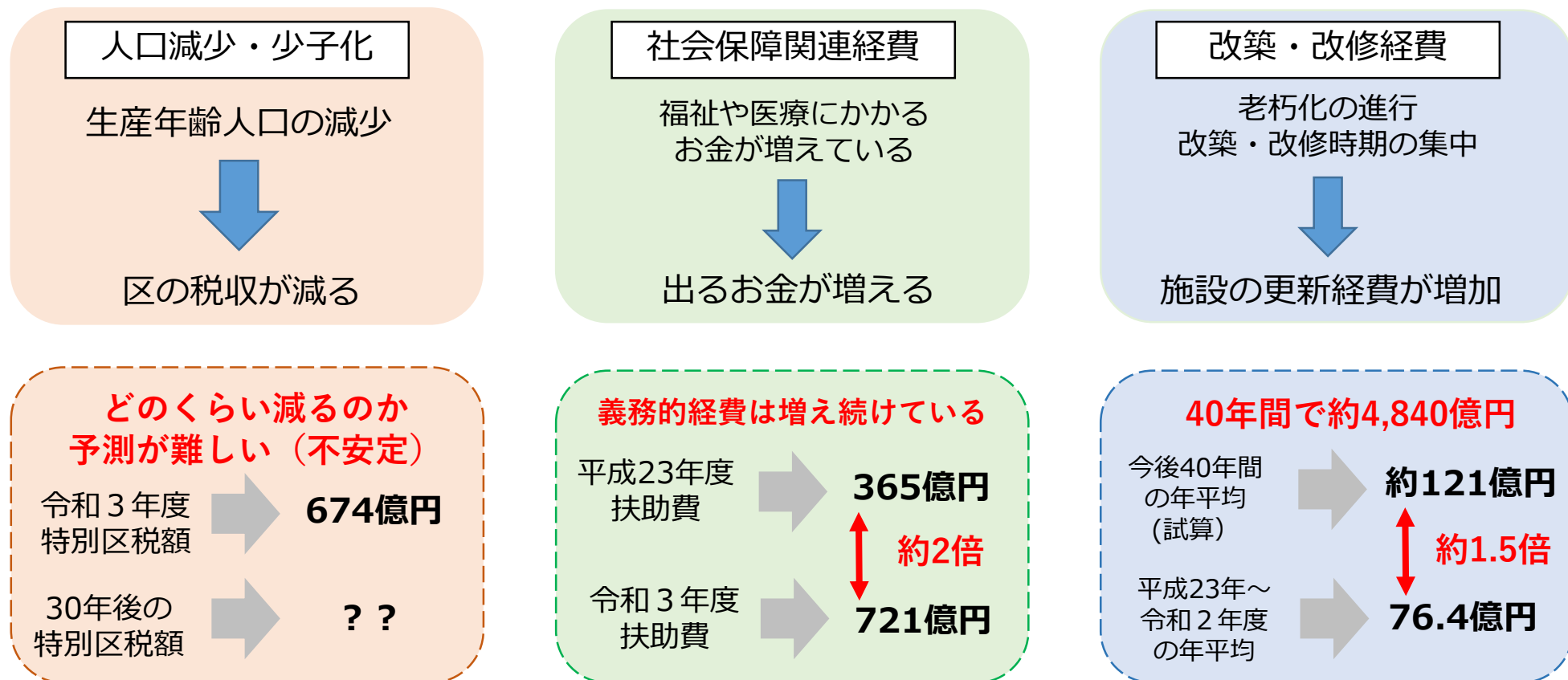


※グラフについては、令和2年度固定資産台帳のデータを基に作成

# 限られた財源の中での施設整備

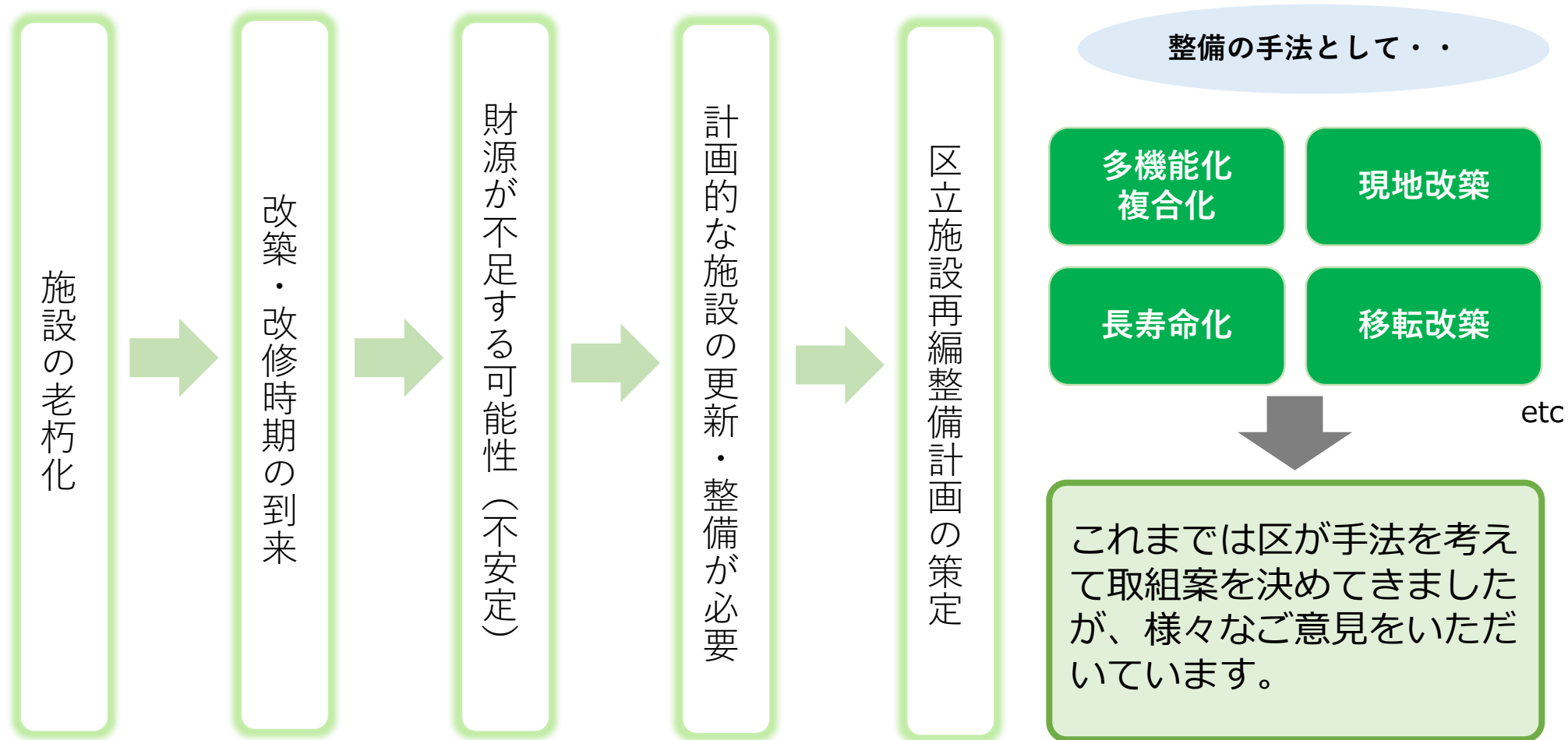
- ・ 今後の少子高齢社会の進展等を踏まえると、**収入の増加が見込めない中で扶助費などの支出（社会保障関連経費）が増加**すると考えられることから、**施設の更新や維持に使える財源の確保は厳しい状況**になることが想定されます。
- ・ 今後40年間の改築・改修等にかかる経費を試算したところ、合計は**約4,840億円**で、年平均にすると**約121億円**となります。平成23年～令和2年度の10年間の改築・改修経費の平均76.4億円と**比較すると1.5倍の経費**がかかることとなります。

## 【厳しい財政状況】



# 進めなければならない施設の更新

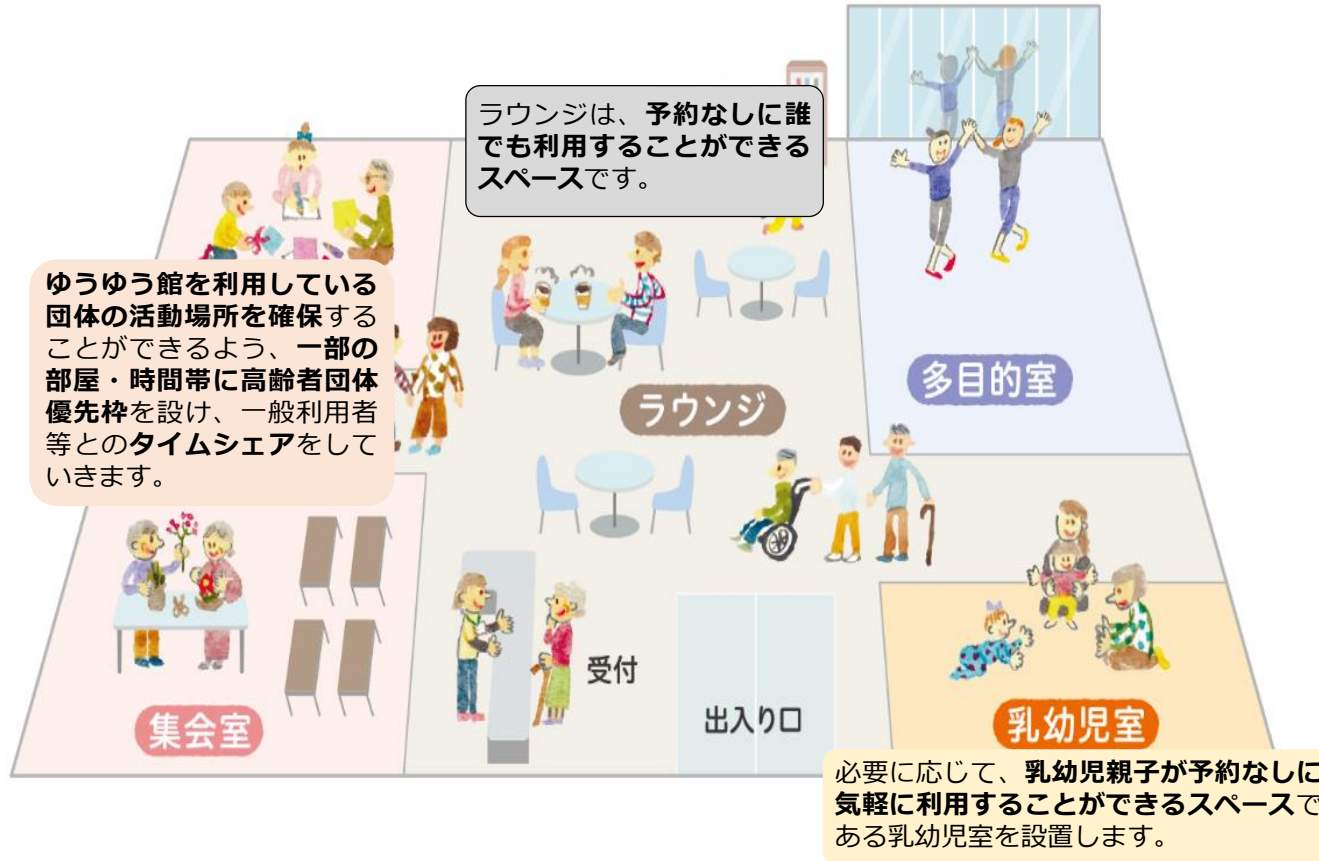
- ・ 厳しい財政状況が見込まれる中でも施設の老朽化は進み、次々と建替え・改修の時期を迎えます。
- ・ 現在の区の財政状況は健全な状態を維持していますが、不安定な経済状況や将来の収入減を見据える必要があります。
- ・ 施設整備にあたっては、区民ニーズの変化に的確に対応することが求められますが、新たに建物を建てるばかりではなく、必要な施設の特性等を踏まえた上で、既存施設の転用や複合化・多機能化なども効果的に活用する必要があると考えています。これまでは区が手法を考えて取組を決めてきましたが、様々なご意見をいただいています。



# ゆうゆう館の機能継承（新たな地域コミュニティ施設の創設）【現在検証しているこれまでの取組】

- ・ゆうゆう館は「生涯現役」の地域拠点として、高齢者の「憩い」、「健康づくり」、「生きがい学び」、「ふれあい交流」の場としての役割・機能を持つ施設です。同じ趣味をもつ団体の活動や、高齢者特有の悩みなどに対応する講座やイベントなどを実施しています。
- ・高齢者専用施設としての特性から**夜間の稼働率が低く、施設の半数以上が築40年以上経過している**など、施設の有効活用の視点や老朽化への対応の観点から今後のあり方を検討する必要があります。（令和元年度のゆうゆう館の平均稼働率は51%）
- ・施設再編整備計画では、ゆうゆう館を区民集会所や区民会館などと合わせて、**他の世代との交流の機会を創出する新たな地域コミュニティ施設「コミュニティふらっと」**へ機能継承することとしており、**高齢者団体の活動場所の確保**と合わせて高齢者にとっても魅力のある施設に再編整備することで、**施設の有効活用**を進めています。

## 【コミュニティふらっとのイメージ】



## 【ラウンジ（コミュニティふらっと阿佐谷・成田）】



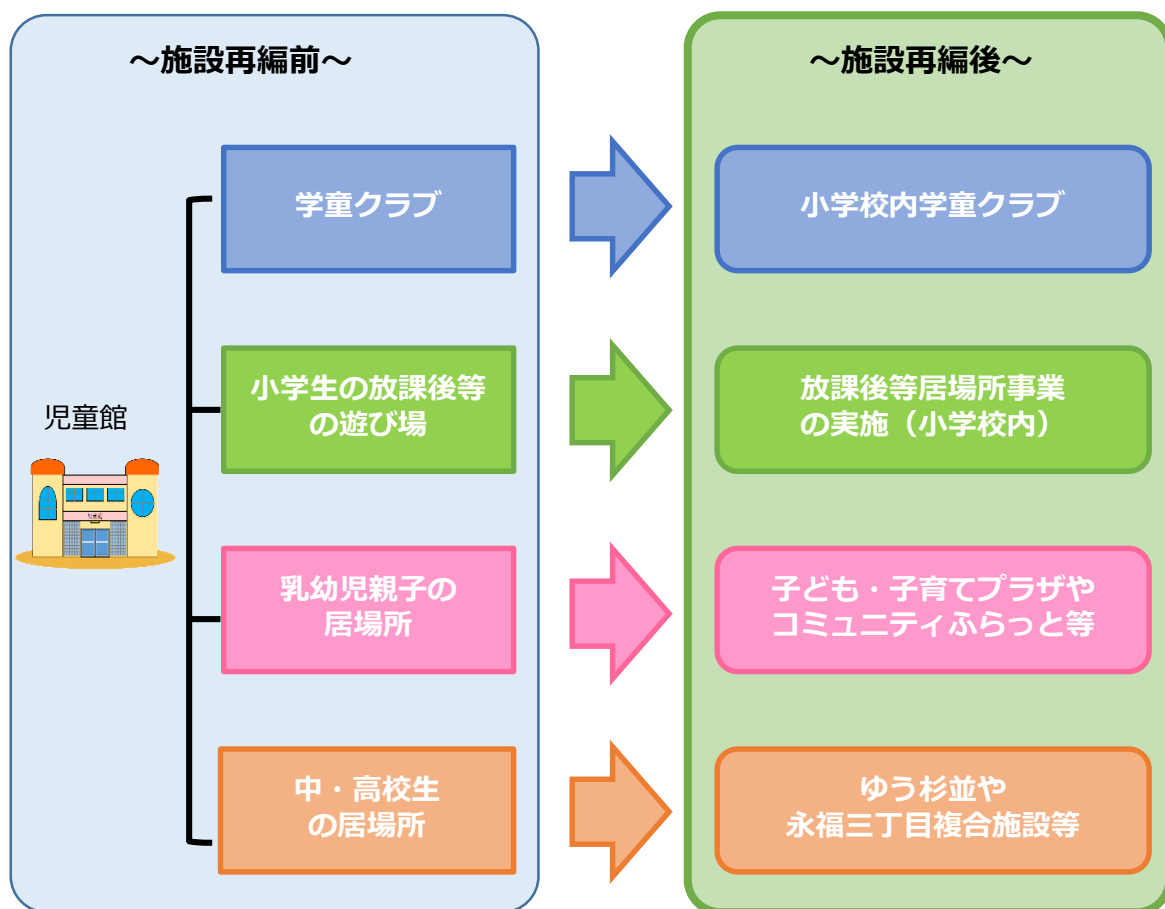


# 児童館再編による子どもの居場所拡充【現在検証しているこれまでの取組】

・児童館は0～18歳の子どもたちが気軽に遊べる子育てを支援する施設として役割を果たしてきましたが、特に近年においては社会状況の変化により、**学童クラブを含む小学生の放課後等の居場所や乳幼児親子の居場所に対するニーズが高まってきました。**

・ニーズの増加・多様化に伴い、**児童館という限られた施設だけでは対応に限界が生じていることから、区立施設再編整備計画に基づき、以下のとおり児童館施設の再編整備に取り組んでいます。**

## 【児童館再編のイメージ】



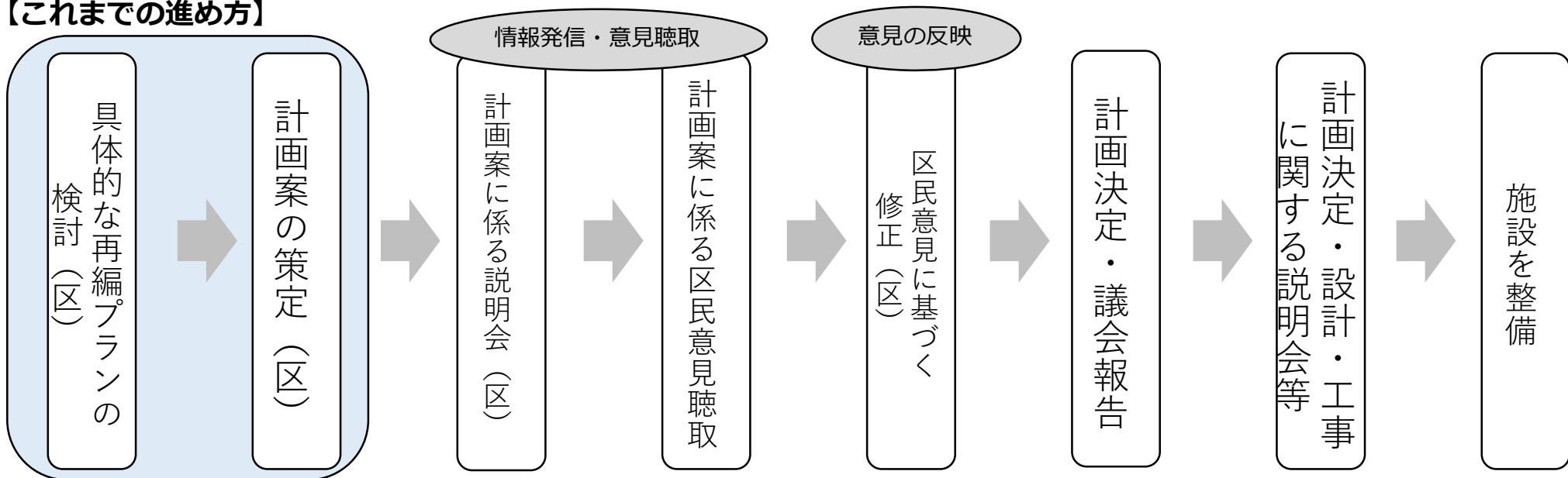
【乳幼児親子でにぎわう子ども・子育てプラザ】





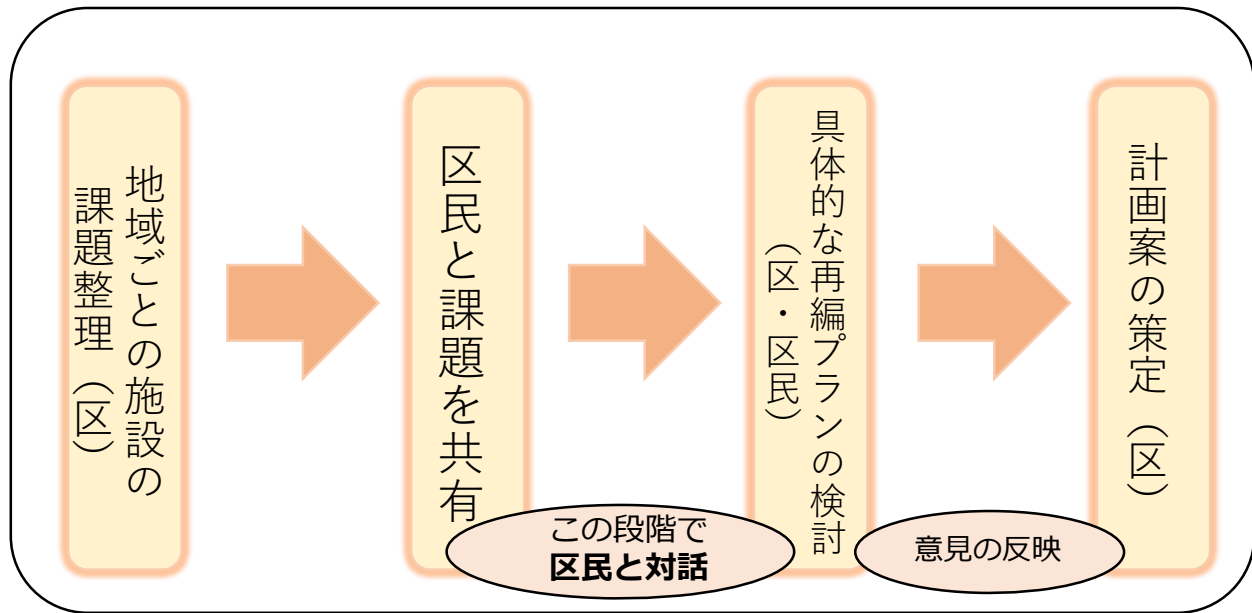
# これまでの施設再編の進め方 ➡ これからの進め方（イメージ）

## 【これまでの進め方】



計画案の策定段階で、  
地域の実情も踏まえながら  
区民とともに  
取組の方向性を検討

## 【これからの施設整備の進め方（イメージ）】



# 計画決定のプロセス（現状）

計画（案）

区が検討・作成し、具体的な計画内容を提示



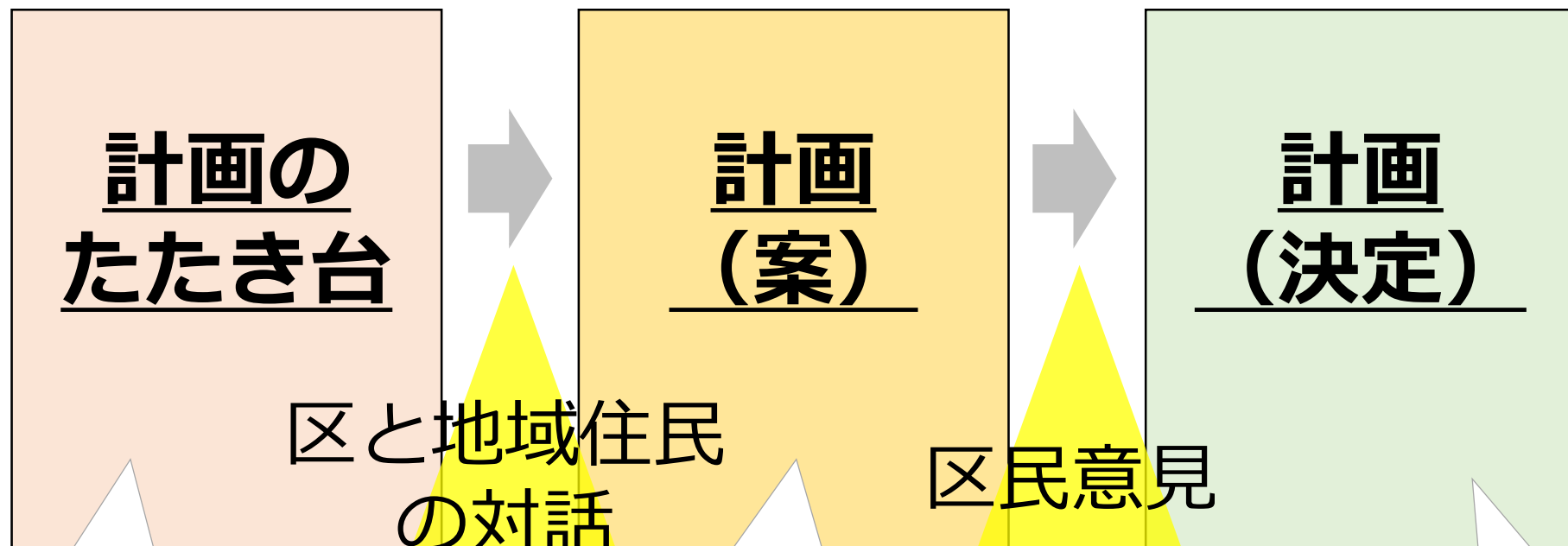
計画（決定）

区民の意見を踏まえて修正

※計画の根幹が変更されることは少なかった

区民意見

# 計画決定のプロセス（今後考えられるかたち）

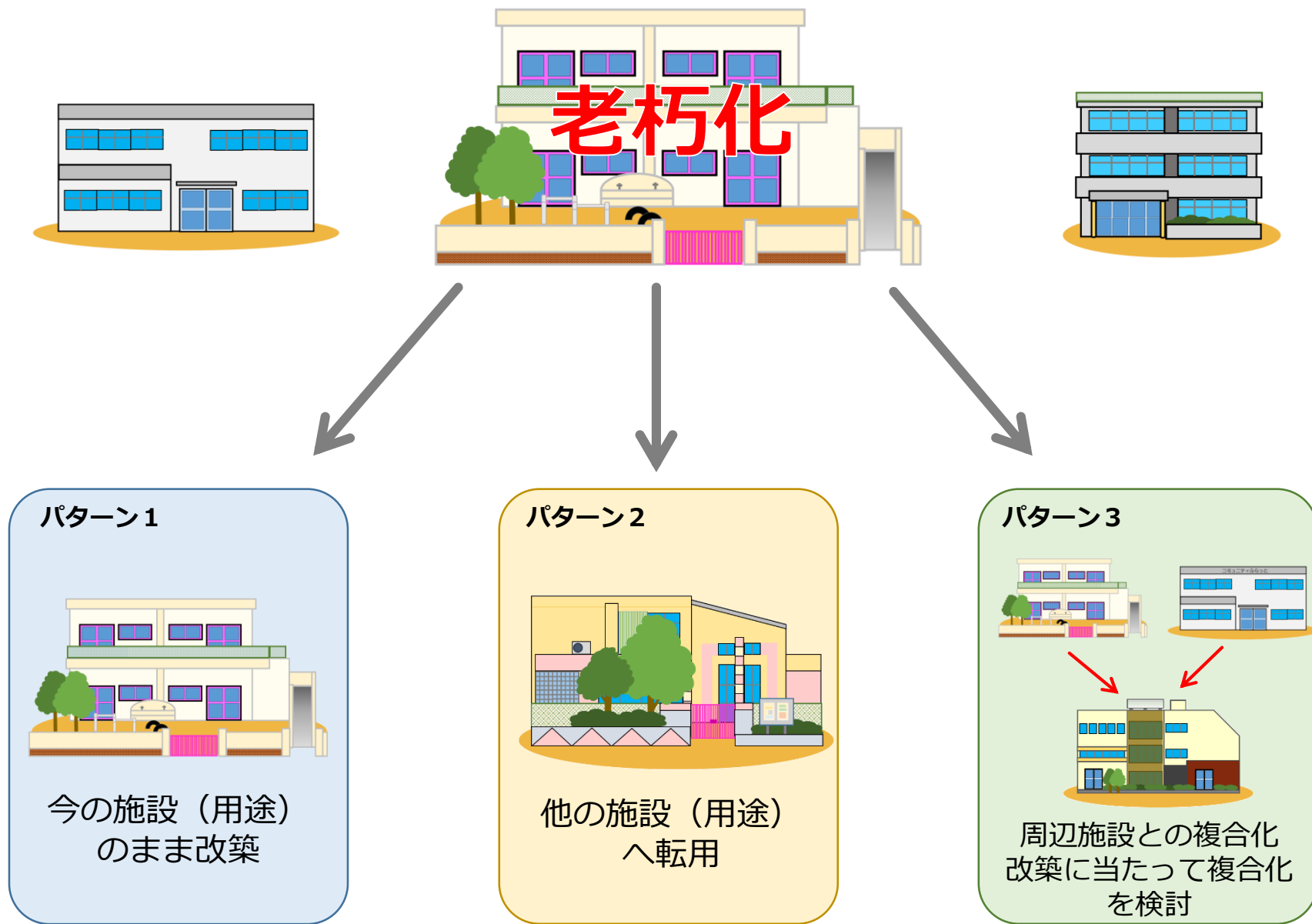


区が、地域内の施設の現状・課題や、今後の施設整備のイメージを複数提示

たたき台をもとに、計画(案)そのものを区と地域住民が作成

区民の意見を踏まえて修正

※（例）老朽化している施設の更新に伴い、様々な整備パターンを示し、区民とともに検討していく。



- ① 区が考えるこれからの施設整備の進め方についてどう思いますか。
- ② どのような人（利用者、年代等）と検討を進めるべきと考えますか。  
また、検討を進める際の人数がどのくらいが適当だと考えますか。
- ③ 意見の聞き方についてはどのような手段を用いればよいと思いますか。  
（対話の機会の設定、アンケート、利用者懇談会 etc）
- ④ どのような単位（範囲）で意見を聞いていくべきだと思いますか。  
（関係する施設の抽出、学区単位、7地域ごと etc）
- ⑤ 各地域で意見を聞きながら検討を進めていく中で、意見がまとまらない場合、  
どのように整備の方針を決めていくべきだと思いますか。
- ⑥ 地域ごとに施設整備を検討した結果、地域間で施設の有無（偏り）が生じる可能性があります  
がどう思いますか。（〇〇地域には△△施設があるが、□□地域には無い等）

### ○施設再編を考えるシンポジウム

～区長とともに考えよう「未来へつなぐ公共施設のカタチ」～

【日時】令和5年8月12日（土） 午後1時30分～午後4時30分（予定）

【場所】西荻地域区民センター（勤労福祉会館）ホール（杉並区桃井4-3-2）

【参加費】無料

【申込み】事前申込み制〔7月5日（水）から8月6日（日）まで〕

電話もしくは右記2次元コードから申込み



#### 【当日のプログラム】

- ・区立施設再編整備計画の検証に係るこれまでの取組について
- ・基調講演 堤洋樹（前橋工科大学准教授）、讃岐亮（東京都立大学助教）
- ・パネルディスカッション（区長・学識経験者等）

### ○施設再編整備計画の検証まとめ（令和5年9月）

※児童館再編については、検証結果を踏まえ、今後のより良い子どもの居場所のあり方について、別途検討組織を立ち上げ、令和6年度を目途に考え方を整理する。

### ○区立施設再編整備計画の改定に合わせて、検証の内容を反映（改定は今年度中）